

第2回研究主任研修会の様子をお伝えします ～校内体制をより確かなものにして、年度後半の研究をひらく～

○研修1 演習「全国学力・学習状況調査結果を年度後半の授業に生かす」

S-P表から見えた「強み」をもって「課題」にあたる、授業改善へ！

① 横軸で個の傾向をつかむ

例：「強み」橙色セルの中の白色セル→児童生徒にとって得意分野の可能性
「課題」黄色セル→早期対応で早めに解決

② 縦軸で授業の傾向をつかむ

例：「強み」赤実線が赤点線より下→指導方法を他教科等へ広げる
「課題」赤実線が赤点線より上→解答類型を確認して対応



北信教育事務所だより第2、3号もご覧ください。また、「学調の分析→授業改善の検討」等、訪問要請を受付中です！

○研修2 話題提供（パネルディスカッション）

「カリキュラム・マネジメントを生かした研究推進 一教科等横断的な取組例一」

3校の研究主任の先生に、各校の取組や研究体制づくりの工夫等についてお話しいただきました。



小布施中主体的に学習に取り組む態度の評価について、いくつかの教科の授業を見合い、皆で考えています。

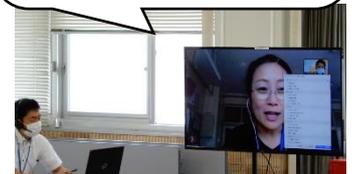


厚陵中「まずは足並み揃えてやってみよう」を合言葉に、授業改善につながる家庭学習の工夫をしています。



村上小昨年は「端末を毎日使う」、今年は「授業改善につながる取組」を目指し、全学級で活用しています。

オンライン参加者村上小の「去年は端末を使うことが目的だったが、今年は手段にする」という考えに共感しました。それが研究テーマからもうかがえますね。



3校とも、「具体的に動く」「みんなで取り組む」がキーワードでした。先生方みんなが同じ方向に歩むからこそ、大きな力となって研究が進むのだとあらためて感じました。

○研修3 グループ討議



細かい悩みから取組の具体例など、お聞きすることができ、自校での自分の行うべきことを示していただけたかったです。



他校の研究の内容を知ることができてよかったです。自分のところだけ見ていると考えが固まってしまうので。日々の具体的な取組を参考にしたいと思います。

授業改善を進めていくと、課題に目が向きがちですが、ぜひ、各校の「強み」にも目を向けていただき、「自校らしさ」を大事にしながら年度後半の研究を進めていただければと思います。
自校が目指す子どもの姿を実現するために、チーム学校、「みんな」で、学びをひらいていきましょう。

<本号でお伝えする内容>

☆第2回研究主任研修会

☆ICTを利活用した学び～学校訪問より～

#…主な読者対象

研究主任

全読者

全読者

頁

①

②

ICTでちょっと工夫 (^_^♪

～1学期の学校訪問から～

長野県教育委員会が昨年度立ち上げた「長野県 ICT 教育推進センター」では、令和4年度の ICT 推進に関する目標を「子どもたち全員が、クラウドによる同時共同編集により、意見交換ができる」と定めています。活用に当たっては、右のような ICT の特性・強みを生かすことが必要です。そして「育成を目指す資質・能力を育むことに寄与しているか」、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながっているか」を踏まえ、具体的な活用方法の工夫を重ねていくことが大切になります。

今回は1学期の学校訪問から、ICT を活用して各教科等の資質・能力の育成や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながっていた取組を紹介します。

クラウドによる ICT 活用の特性・強み

- ① 多様で大量の情報の取り扱い、容易な試行錯誤
- ② 時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化
- ③ 空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報共有(双方向性)

(「令和4年度教育課程編成・学習指導の基本」より)

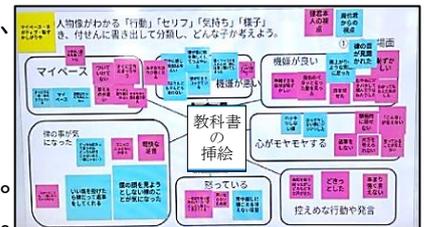
付箋アプリの活用 【考えを比較する・広げる・まとめる】

国語科 同時共同編集を通して、登場人物の人物像を考える

〈育成を目指す資質・能力〉人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること (思考力, 判断力, 表現力等)

～小学6年生「視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう」～

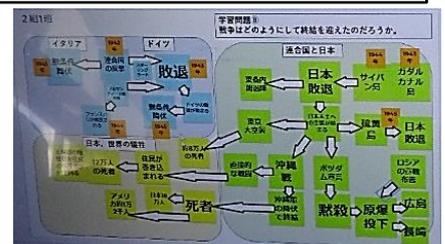
2人の登場人物の視点の違いに着目し、それぞれの人物像を捉えるのですが、人物像を考える際に、付箋アプリを使い、複数の場面の複数の叙述を挙げ、それらを整理することが考えられます。付箋の移動や色分け等がしやすく、1人で考える際もよいですが、グループ等で考える際に使うと、1人では気付かなかった叙述や、考えつかなかった捉えが瞬時に共有できるので、考えを広げやすくなります。その上で、自分は人物像をどう捉えたのかを個人でまとめます。なお、学習の前後の画面を保存して見比べると、学んだことの自覚にもつながります。



社会科 事象同士の関係を整理する歴史的分野の授業

〈育成を目指す資質・能力〉近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。(思考力, 判断力, 表現力等)

中学校歴史的分野では、学習問題の解決に向けて、事象同士を因果関係などで関連付け、追究していくことがあります。A中学校3年生の授業では、生徒は、付箋アプリを用いて事象同士の関係を矢印でつなげて因果関係を整理して、第2次世界大戦の終結について考察していました。ICT を活用することで、事象同士の関係性を整理したり、同時共同編集機能を利用してグループの仲間と追究したりすることに、取り組みやすくなります。また、生徒の思考を促すための、様々な思考ツール等の活用も行いやすくなります。



総合・生活科

「アナログ×デジタル」の情報収集

〈育成を目指す資質・能力〉

自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する（思考力、判断力、表現力等）
互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う（学びに向かう力、人間性等）

社会科での学びを出発点とし、横断的・関連的に総合へと発展した小学3年生「地域の人・ものと出会おう」の実践からです。児童が全体を見て比較しやすく、「どのお店を知りたいか」を考えやすいように、先生は地域で見つけたお店や施設の画像の一覧を紙に印刷しました。児童はそれを見ながら、自分がもっと詳しく知りたいお店や施設を選び、今度は瞬時に相手と共有できる端末の付箋アプリを使って思ったことやさらに知りたいことを書き込んでいきました。同時共同編集機能を利用することで、自分の考えと友だちの考えを比較したり、よりよい情報収集の方法について考えたりする姿が見られました。

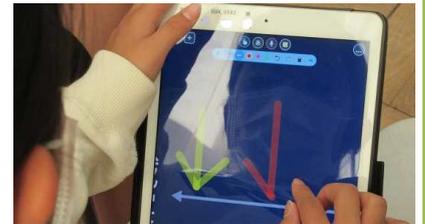


道徳

考えの共有

〈育成を目指す資質・能力〉 「道徳性」…道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

ファイル共有機能を活用して、考えを表現・共有する場面での活用です。教材の登場人物の行為について誠実だと思うか、思わないかを表したデジタルスライドの数直線上に示します。その後、ファイル共有機能を使って学級全体で共有します。共有された友達の考えを視覚的に知ることができ、自分の考えと比較し、他者と対話することで、物事を多面的・多角的に考える学習につながります。話し合い後には、変容した気持ちや考えを同じ数直線上に示し、その変化を発表し合うことで、さらに自分の考えと比較しながら視野を広げて考えることにつながります。



プレゼンテーションソフトの活用

【正確に操作する・取組を適時参考にする・追究意欲を高める】

算数・数学科

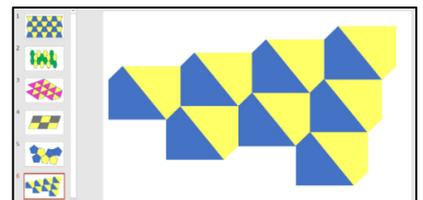
ICTで図形を敷き詰め模様づくり（小3、小4、小5）

〈育成を目指す資質・能力〉

図形を構成する要素に着目することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。【学びに向かう力、人間性等】

〈ICT活用のポイント〉

- リアルタイムで友達の取組を見ることができ、多面的な見方につながる。
- ズレが少なく、図形の特徴を生かした模様（デザイン）作りができる。
- 図形を無制限に複製でき、児童の追究意欲を高める。
- 図形の色や形を自由に変えることができ、模様（デザイン）の美しさに気づき、身の回りの模様と関連させて考えることができる。



活用イメージ【5年「合同な図形」】

☆授業では、一人一人が自分のスライドに合同な三角形や四角形を敷き詰めていきます。その際、友達の活動の様子をフィルムストリップで見ながら、様々な図形で試みます。互いの作品を見合い、敷き詰めができる図形の共通点を見いだすことができます。また、身の回りにある「敷き詰め模様」を写真に撮るといった、発展的な活動に取り組むこともできます。

表計算ソフトの活用【考えを瞬時に共有する・差異点、共通点に着目する】

理科

見通しをもって観察・実験を行う

〈育成を目指す資質・能力〉 見通しをもって観察，実験を行う（思考力，判断力，表現力等）
科学的に探究しようとする態度を身に付ける（学びに向かう力，人間性等）

中学1年生「水溶液の性質」の授業からです。物質が水にとけるとはどのような状態かを先生が問うと、生徒は「透き通ったとき」「溶質が分子レベルまで小さくなり、均等に広がったとき」と多様な予想を書くことが予想されました。そこで、予想の場面で表計算ソフト等を活用して記述するようにしました。考えたことを瞬時に共有でき、友達のを考えを基に、多面的な見方で見通しをもてます。また、表になっていることで差異点、共通点から問題を見いだす際、予想の妥当性を吟味しやすく、科学的な追究方法の探究へとつながっていきます。

	〇月〇日	学習問題「物質に水がとけると
番号	氏名	予想
1		物質が水と一緒にになった。
2		個体が液体となったとき。
3		透明になって、透き通ったとき。
4		見えなくなったとき。

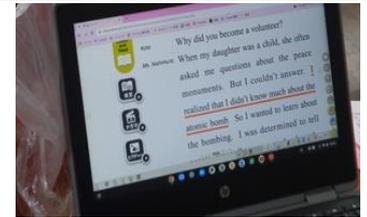
デジタル教科書の活用【参考となる表現を見つける・必要な表現の音声を繰り返し聞く】

英語科

デジタル教科書の活用×言語活動

〈育成を目指す資質・能力〉 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。（思考力，判断力，表現力等）

コミュニケーションを行う目的や場面，状況等を具体的に想起しながら、本文の音声を止めたり、同じ箇所を繰り返し聞いたりして、自分の考えを伝える際に参考となる表現にマーカーを引きます。そして、その表現を用い、目的や場面，状況に応じたやり取りをしたり、発表をしたりします。表現しにくい語彙や文がある場合は、再度音声を聞いたり発音したりして確認することができるので、言語活動を繰り返す度に表現が豊かになっていきます。さらに紙の教科書にはない、マスク機能、スラッシュ表示機能、読み上げ機能等を活用することで、個の目的に応じた習得活動や言語活動の充実につながっていきます。



個別の支援に活用【文字を入力する・表現を蓄積する】

特別支援

自分の思いを表現しよう

〈自立活動の目標〉

障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

文字で書くことに困難さがある場合、ぜひ ICT を活用してみましょう。平仮名しか書けなかった児童生徒が、片仮名や漢字を適切に使って書くようになったり、いつも感想を一言で済ませてしまう児童生徒が、長い文章を意欲的に書いたりする姿が期待できます。ノートや物の管理が苦手な児童生徒もクラウドを活用することで、授業の感想や振り返りの作文を毎時間書かため、必要に応じて見返すことが容易になります。また、通常学級や特別支援学級、通級指導教室等、どの学びの場でも、友達や教師とデータを共有し、互いの考えから学べるよさがあります。

